

「神を捨てたを 救うために ご自分を捨てた神」

イザヤ書53章1～12節

1

53:1 私たちの聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕は、だれに現われたのか。
53:2 彼は主の前に若枝のように芽生え、砂漠の地から出る根のように育った。彼には、私たちが見とれるような姿もなく、輝きもなく、私たちが慕うような見ばえもない。
53:3 彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。
53:4 まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。

2

53:5 しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。
53:6 私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。53:7 彼は痛めつけられた。彼は苦しんだが、口を開かない。ほふり場に引かれて行く小羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。
53:8 しいたげと、さばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことだろう。彼がわたしの民のそむきの罪のために打たれ、生ける者の地から絶たれたことを。

3

53:9 彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富む者とともに葬られた。彼は暴虐を行わず、その口に欺きはなかったが。
53:10 しかし、彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら、彼は末長く、子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。彼は、自分のいのちの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を彼がになう。それゆえ、わたしは、多くの人々を彼に分け与え、彼は強者たちを分捕り物としてわかちとる。彼が自分のいのちを死に明け渡し、そむいた人たちとともに数えられたからである。彼は多くの人の罪を負い、そむいた人たちのためにとりなしをする。

4

イスラエルは高慢のために滅びる

- 天よ、聞け。地も耳を傾けよ。【主】が語られるからだ。「子らはわたしが大きくし、育てた。しかし彼らはわたしに逆らった。牛はその飼い主を、ろばは持ち主の飼葉おけを知っている。それなのに、イスラエルは知らない。わたしの民は悟らない。イザヤ1:2-3
- 終わりの日に、【主】の家の山は、山々の頂に堅く立ち、丘々よりもそびえ立ち、すべての国々がそこに流れて来る。多くの民が来て言う。「さあ、【主】の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてくださる。私たちはその小道を歩もう。」それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから【主】のことばが出るからだ。イザヤ2:2-3、使徒1:8

5

イスラエルは高慢のために滅びる

- 主は国々の間をさばき、多くの国々の民に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。来たれ。ヤコブの家よ。私たちも【主】の光に歩もう。イザヤ2:4-5
- 割礼を受けているか受けていないかは、大事なことはありません。大事なのは新しい創造です。どうか、この基準に従って進む人々、すなわち神のイスラエルの上に、平安とあわれみがありますように。ガラテヤ6:15-16

6

勝手な道

- 私たちはみな、羊のようにさまよい、おのれの、自分かってな道に向かって行った。イザヤ53:6
- 今、行って、これを彼らの前で板に書き、書物にこれを書きしるし、後の日のためとせよ。世々限りなく。彼らは反逆の民、うそつきの子ら、【主】のおしえを聞こうとしない子らだから。彼らは予見者に「見るな」と言い、先見者にはこう言う。「私たちに正しいことを預言するな。私たちの気に入ることを語り、偽りの預言をせよ。道から離れ、小道からそれ、私たちの前からイスラエルの聖なる方を消せ。」イザヤ30:8-11、2テモテ4:3

7

勝手な道

- 羊にとって勝手な道は死を意味した。人間にとっても。創世記3章
- 戦後のクリスチャンブームが終わった時の日本人の選択 神か金か
- お金は聖域？自分の至聖所には神も入らせない。箴言3:5-10
- もし神が全部の主でなければ、神は全然主ではない。If God is not the Lord of all, then he is not Lord at all.
- 「だが私たちは思った」イザヤ53:4

8

勝手な道

- 勝手は勝つ手ではなく、負ける手。
- 自分を神とする偶像崇拜。
- 神の無条件の愛にふさわしいのは、無条件降伏だけ。
- 神への無条件降伏こそ勝利への道！
- 私たちのためにしもべとなって下さった神
- 「あなたたちの運命がどうなるか分かりませんが、一つだけ分かっています。あなたたちの中で本当に幸せになれるのは奉仕する方法を探し求め、見つけた人だけです。」アルベルト・シュヴァイツァー

9

福音とは

- 良い知らせを伝える者の足は山々の上にあつて、なんと美しいことよ。平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、救いを告げ知らせ、「あなたの神が王となる」とシオンに言う者の足は。イザヤ52:7
- 「悔い改めなさい。天の国(神の国)が近づいたから。」マタイ4:17、マルコ1:15
- しかしイエスは、彼らにこう言われた。「ほかの町々にも、どうしても神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。わたしは、そのために遣わされたのですから。」ルカ4:43

10

福音を受け入れるとは

- 「あなたの神が王となる」「神が私の王となる」=「神の国が私の内に来た」
- 私の生活の「全部の」神(主)
- 「御国(神の国)が来ますように=みこころが天で行われるように地(わたしの今日の生活)でも行われますように。「今日も王として治めてください。」
- 神が私たちのためにしもべとなって下さった。私たちが王である神のしもべとなって仕える。ヨハネ13:14-15、34-35

11

福音を受け入れるとは

- 私たちのために「砕かれた神」の愛によって私たちの心が砕かれなければならない。
- いと高くあがめられ、永遠の住まいに住み、その名を聖となえられる方が、こう仰せられる。「わたしは、高く聖なる所に住み、心砕かれて、へりくだった人とともに住む。へりくだった人の霊を生かし、砕かれた人の心を生かすためである。」イザヤ57:15

12